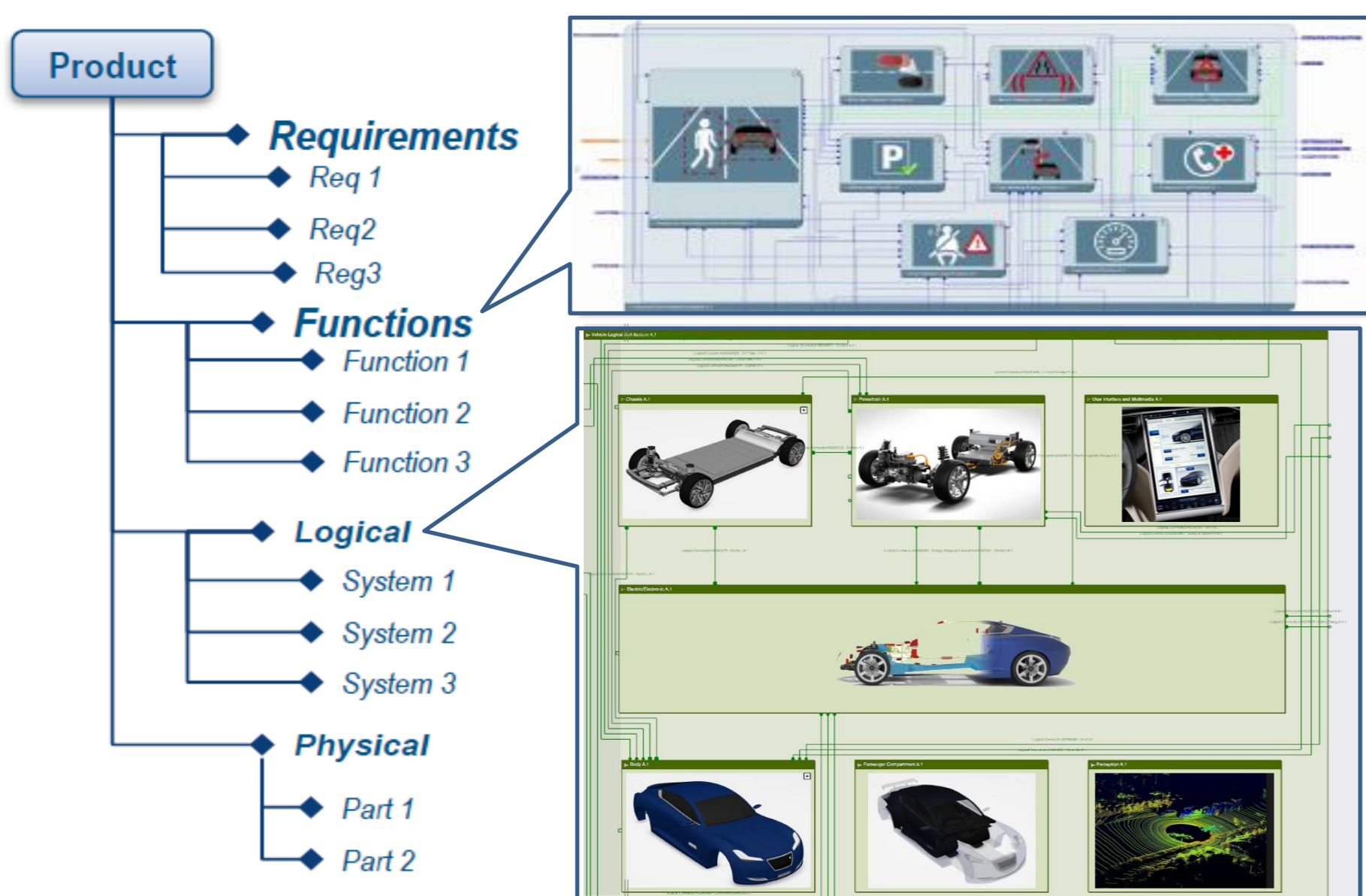


モデル・ベース・システムズ・エンジニアリング を活用した協調開発

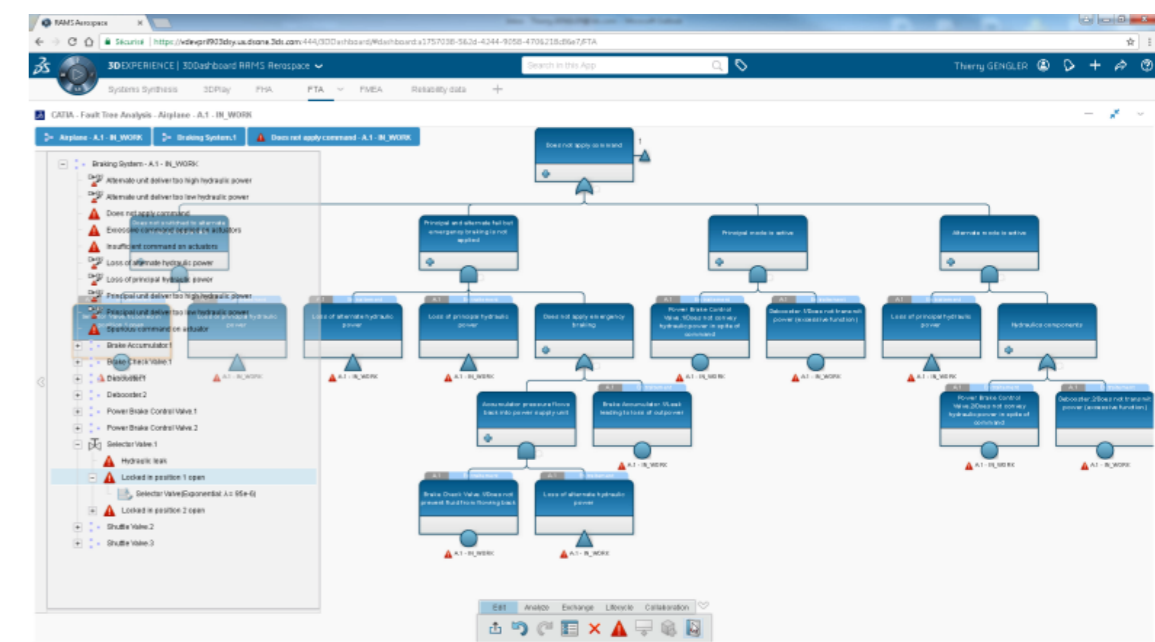
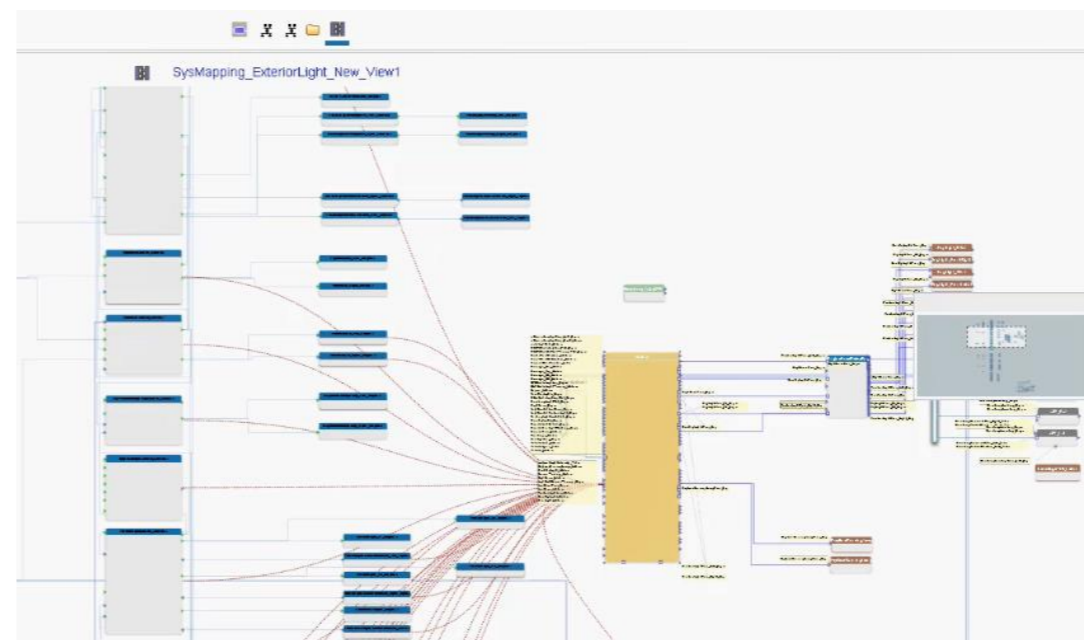
狙い

自動運転やADASの実装に必須な各種センサー、ソフトウェアなど増大する設計要素を克服する手法「モデル・ベース・システムズ・エンジニアリング (MBSE)」を活用し、複雑な複合物理システム(メカ/電子/ソフト)の協調開発

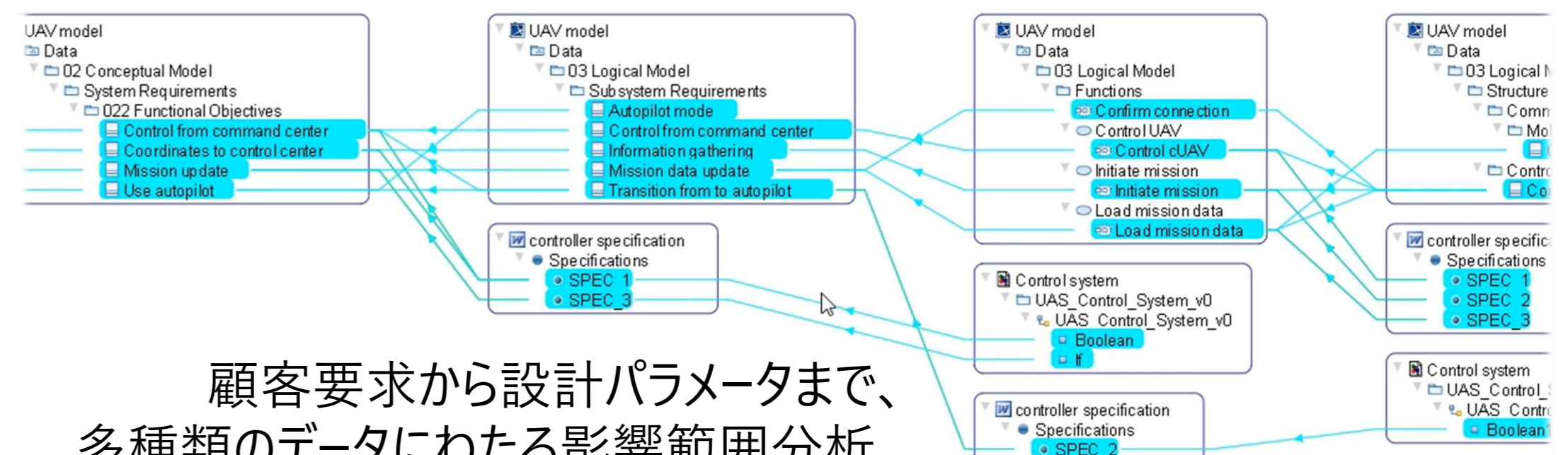
①システムアーキテクチャを定義・検証



②ソフト・ハード設計や機能安全に活躍



アーキテクチャに基づいた機能安全分析 (FTA、FMEA)



顧客要求から設計パラメータまで、多種類のデータにわたる影響範囲分析。ISO26262対応成果物の自動作成も

CAMEO System Modeler
によってSysML上
振る舞い検証が可能



効果



▶ **イノベーションを加速**
システムエンジニアリングをベースとした組み込みSW開発プロセスを実現、E/Eシステム全体を鳥瞰、ECU機能割付けの柔軟なトライアル、AUTOSAR実装



▶ **トレーサビリティ**
多様なツールに点在する開発データをまとめて管理し、関連性を見える化して分析出来る。機能安全基準対応にも効果的



▶ **解析やPLMと連携**
トレードオフの定量化するシミュレーションやPLM (BOM、変更管理、派生管理...)と連携し、整合性を保って再利用性を向上

関連製品

- 3DEXPERIENCE System Architect, System Synthesis, Electrical/Electronic Architect, Safety Analyst
- CAMEO System Modeler